

資料3

警察庁報告資料

令和5年10月26日
生活安全局

食品の産地等偽装表示事犯の検挙状況について

1 食品の産地等偽装表示事犯の検挙状況

令和4年中における食品の産地等偽装表示事犯の検挙事件数は4事件、検挙人員は14人、検挙法人は3法人であった。

2 最近の主な検挙事例

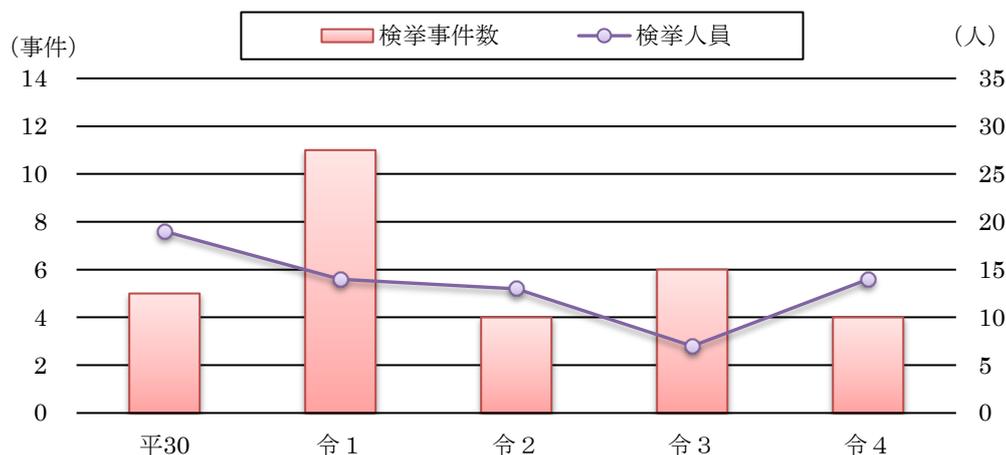
○ 魚貝類の加工・販売を行う事業者の役員の男は、令和4年1月頃から2月までの間、外国産ウニを販売するに当たり、それらのパックに「原産地名 北海道利尻産」等と印字した商品ラベルを貼付し、食品表示基準において表示されるべき原産地について虚偽の表示がされた食品を販売譲渡した。

令和5年4月、同男1人及び1法人を食品表示法違反で検挙した（北海道）。

○ 水産物の輸入・販売を行う事業者の役員の男らは、不正の目的をもって、令和2年7月、外国産アサリを販売するに当たり、納品書等に「熊本県産アサリ」と記載して、販売するアサリの原産地が「熊本県産」と誤認させるような表示がされた食品を販売譲渡した。

令和5年4月までに、同男ら7人及び4法人を不正競争防止法等違反で検挙した（熊本・佐賀）。

【参考】食品の産地等偽装表示の検挙状況の推移（過去5年）



	平30	令1	令2	令3	令4
検挙事件数	5	11	4	6	4
検挙人員	19	14	13	7	14
検挙法人数	5	11	4	5	3